

2005.5.14

日本選挙学会 2004 年度第 5 回理事会

於：愛知学院大学 日進キャンパス 12 号館 G506

出席：池田理事長

和田・小林・川人・河野・大山・玉井・岩崎・平野・岩淵・竹下・谷・山田・荒木・川戸・神江理事、岡田・森脇監事、安野事務局長、小林哲・今井・堤幹事

前回理事会の議事録確認…出席者の追加

1 各委員会の活動状況について

①企画委員会

川人委員長より 2005 年度の研究会が実施中である旨の報告

②年報編集委員会

竹下委員長（20 号）より、年報 20 号が 2 月末に、紀要 3 号が 11 月に発行されたこと、紀要 4 号は今月末に完成予定であることが報告された。併せて、（規定の変更が必要となるが）紀要では長めの論文を上下に分割しての掲載を可能にすることが提案された。山田理事より、分割して掲載する場合も、査読は 1 本の論文として扱う点について確認がなされた。岩淵委員長（21 号）からは、基本的に 1 本の論文として扱い、分量が多くなる場合は投稿者に事前に編集委員会に相談してもらい、掲載時に分割するとの方法を採用することを想定している旨の回答があった。年報編集委員会で投稿規程の改定案を作成し、今後の理事会で審議することとなった。

③文献委員会

桑原委員長欠席のため、2004 年度活動報告の資料が配付された。

④選挙管理委員会

大山委員長。特になし。

※大会運営委員長

梅川委員長より挨拶があった。校務のため、共通論題の冒頭に学長の挨拶を行いたいとの提案があり、了承された。

2 2004 年度決算・監査報告の件

安野事務局長より資料に基づき、2005 年度大会校への補助 50 万円を、大会準備の迅速化のため 2004 年度中に振り込んだこと、委員会活動費の内訳は、企画委員会 20 万円、年報編集委員会（21 号）に 20 万円、年報編集委員会（20 号）10 万円、文献委員会 10 万円、事務局 10 万円であることなどが説明された。併せて年報印刷費を 4 月に執行したが、科

研費の補助を受ける上で問題がないか学術振興会に確認し、年度中に刊行されていれば問題は無いとの回答を得たことが報告された。

続いて、池田理事長から（退会者を除いた）会費納入率は72%と例年並であることが報告された。また、大会開催校への補助は大会前年度中に支払うことを今後の方針とした旨の提案があり、了承された。

この後、岡田・森脇監事より、資料に基づき、決算報告に間違いがないことを確認したとの監査報告がなされた。その際、小林理事より監査の日付は3/31にする方が自然ではないか？との指摘があり、今年度は実際の監査の日付とし、今後は3/31することとなった。また河野理事から、年報発行準備金は現在、定期預金となっているが、利便性や利息の点から、普通預金にした方がよいのではないかと提案があり、普通預金へと移すことになった。

3 2006年度大会開催校の件

安野事務局長より、上智大学・河崎理事が欠席のため、明日の理事会で報告予定であることが報告された。

4 選挙規定変更の実施要領について（継続）

規程・要項・覚え書きの最終変更案が、池田理事長より提示（別紙資料参照）された。前回理事会で受けた指摘について修正を施した案であることが説明され、いずれの案についても承認された。併せて池田理事長より、今後の名簿作成等についてのスケジュールが説明された。

5 入会申込者・大会希望者の承認について

安野事務局長から、10名から入会希望があったことが報告され、入会申込書の回覧の後、全員の入会が承認された。また、22名が会費未納で、5名が自己都合等により退会することが報告された。この結果、5月14日時点の会員は530名となった。

6 その他

①会費の納入状況について

会費納入状況は池田理事長の報告のとおり。安野事務局長から、本日も会費を受付中であることが報告された。

②名簿の発行について

安野事務局長より、選挙規程が変更され、また前回の名簿発行から3年経つため、冊子形式の名簿を新たに作成予定であることが報告された。岩淵理事、平野理事からの指摘により、記載を希望しない事項の申し出を受け付けること、新規に取得する情報についてはその目的を周知することが確認された。また、会員からの返事がない場合の扱いについて議論がなされたが、葉書・学会のホームページ等で掲載条件を周知することとなった。

③その他

安野事務局長より、年報21号の刊行に対して110万円の科研費出版補助が得られたことが報告された。